

神奈川県議会議員

松長やすゆき

県政報告

第5号



コロナ収束の原点は、
一人ひとりの自覚ある行動です。

もう一度予防の基本に戻って
実行していきましよう。

憂慮されていた地方への感染拡大が現実のものとなりつつあるコロナ禍において、東京をはじめとする重点地区に「まん延防止等重点措置」が実施されることになりました。(4月20日現在)
東京オリピックを間近に控え、事態は今後どのように変わっていくのか予断を許しません。感染拡大防止のために、いま私たち一人ひとりにできることをもう一度考え直してみましよう。



緊急事態宣言の解除とともに増加するコロナ感染者。それに、にわかには増え始めた変異ウイルス感染者。

事態はなかなか好転の兆しを見せず、国中、また世界中が苛立ちと不安にさらされています。

そして、緊急事態の発令と解除の繰り返しは、人々の緊張感を失わせ

ているかのように見受けられます。

このような状態の今こそ、私たち一人ひとりが何をなすべきかを冷静に考え、行動しなくてはなりません。

みんなで助け合い
コロナ収束を

今、何をなすべきか。

それは、もう一度感染予防の原点

ワクチン接種の情報周知について要望しました

黒岩知事 コロナウイルスのワクチン接種に関する情報は県ホームページにワクチンの特設ページを開設し、効果や副反応のほか市町村における接種スケジュール、最新の情報などを発信していきます。また、ワクチンは医療従事者・高齢者・基礎疾患を持つ人・その他の方といった順に接種していきます。接種したことで感染リスクがなくなるわけではありません。接種していない方への感染防

止のためにも、感染が収束するまでは基本的な感染防止対策を徹底するよう呼び掛けていきます。
松長 情報が届かない方へのフォローアップとして地域の民生委員の活用、社協などの関係団体との連携、保健所設置市と県所管の七保健所との間の連絡・連携を強化し、情報の共有など効果的な対応策の取れる仕組みを構築するようお願いいたします。

ウイルスが嫌いな事を
みんなでしようね!!



に立ち返って、忍耐強く予防行動を実践することです。

流行当初から言われているマスクの着用、三密の回避、うがい手洗いの励行、ソーシャルディスタンスの確保、こまめな換気といった防疫の基本を、再認識して徹底することです。これこそが何にも勝るコロナ収束への

本道であり、近道であるはずですが。幸いワクチンの接種が始まり、イギリスなどでは相当の効果を上げているようです。
わが国でも、ワクチン接種者の増加とともに事態が好転することを念願してやみませんが、ワクチンは万能ではありません。ワクチン接種の効果を確認に高めるためにも、国民全員が防疫行動が不可欠です。
自助・共助・公助といいますが、コロナ収束にとって不可欠なのは、国民一人ひとりの自助努力です。自助あってこそその公助です。私たちには、昔から辛抱強さ、礼儀正しき、思いやりと和らぎの心といったものが伝統的に流れ、受け継がれてきています。
助け合い励まし合い、コロナを収束させ、世界の人々に見事な東京オリピックを見てもらえるよう、共に頑張らましよう。

